

NEW

令和7年度  
福島県歴史資料館収蔵資料展

# 新

Newly Released Archives Exhibition

公開

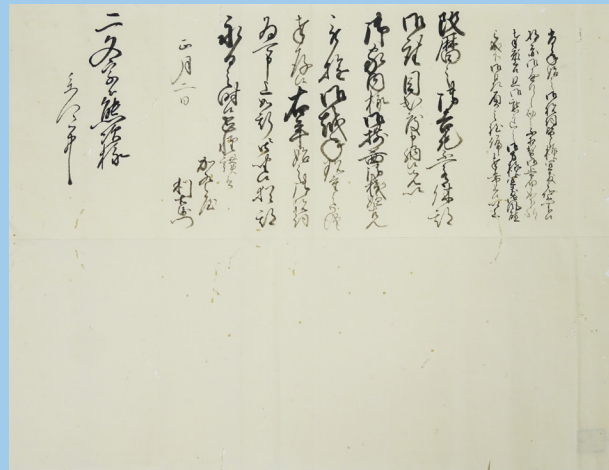
# 史料展

2025. 12. 13  
▶ 2026. 3. 22

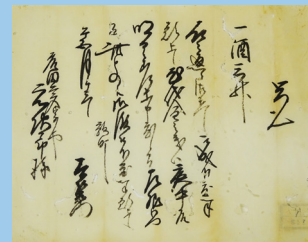
土

日

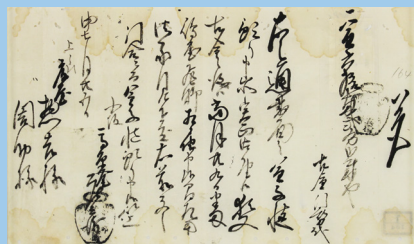
◆◆ 入館無料 ◆◆



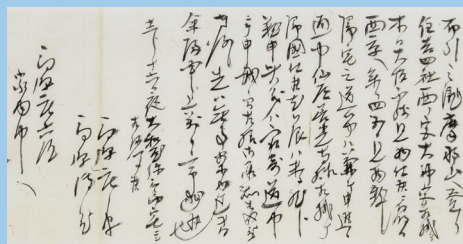
1



2



3



4

1. 〔江戸後期〕正月2日付〔書状〕（年始之御祝詞為可申上）（二文字屋文書（その2）54）
2. 〔江戸後期～明治前期〕午5月13日付〔酒注文〕覚（二文字屋文書（その2）143）
3. 〔万延元年〕（1860）申7月25日付〔古金引替代金預り〕覚（高原庄一家文書（その2）104）
4. 〔明治14年〕（1881）12月16日付〔書状〕（名所見物之次第等）（部分、高原庄一家文書（その2）298）

トピックス展「旅する人、移動する人」同時開催



## 福島県歴史資料館展示室

（とうほう・みんなの文化センター内）

- ◆ 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆ 休館日 毎週月曜日（月曜が祝日の場合は翌火曜日）  
年末年始（12/28（日）～1/4（日））  
※会期中に1週間程度の工事休館を予定しています。  
詳細は、当館ホームページやSNS(X)でお知らせします。
- ◆ 解説会 12/20（土）・2/22（日）  
午後1時30分より、50分程度担当者が解説します。

◆ 主催



公益財団法人  
福島県文化振興財団



福島県歴史資料館  
〒960-8116  
福島県福島市春日町5-54

TEL：024-534-9193  
FAX：024-534-9195  
E-mail：history@fcp.or.jp

Q 福島県歴史資料館

検索

ホームページ

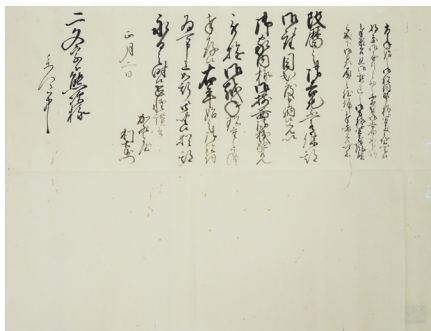


SNS (X)



# 新公開史料展

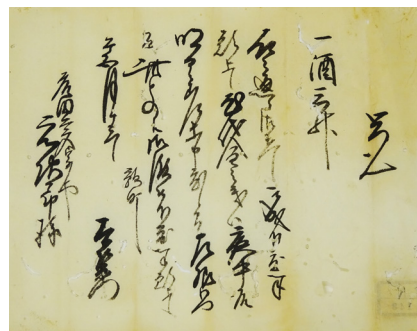
『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第56集に収録され、新たに公開となった伊達郡藤田村（現国見町）ゆかりの「二文字屋文書（その2）」および伊達郡小坂村（同前）ゆかりの「高原庄一家文書（その2）」を展示し、各文書群の魅力と特徴的史料を紹介します。



## 〔書状〕（年始之御祝詞為可申上）

（二文字屋文書（その2）54）

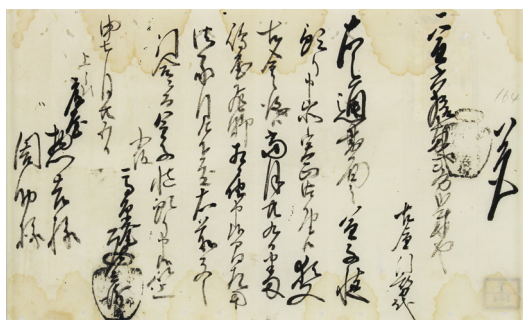
宇都宮城下における旅籠経営者のかと屋（角屋）利右衛門が二文字屋熊次郎へ出した、江戸時代後期の年始状です。内容は一般的ですが、追伸には城下通行時はまた宿泊してほしいと書かれています。



## 〔酒注文〕覚（酒三升御遣し被成下度）

（二文字屋文書（その2）143）

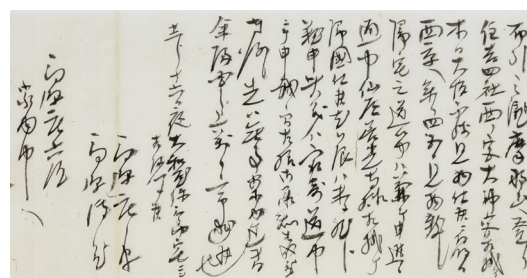
森山村鶉町（現国見町）の太左衛門が江戸後期から明治前期に作成した酒3升（約5.4L）の注文書です。二文字屋は主に酒類の醸造・販売を通して財を成した、藤田宿でも指折りの商家でした。



## 〔古金引替代金預り〕覚

（高原庄一家文書（その2）104）

小坂村で酒造・養蚕業などを営んだ高原屋の高原庄兵衛が、上山村（現山形県上山市）藤屋に送った万延元年（1860）の証文です。高原家が古金引替に携わっていたことを示す史料です。



## 〔書状〕（名所見物之次第等）

（部分、高原庄一家文書（その2）298）

高原家当主の庄兵衛らが、明治14年（1881）の伊勢・金毘羅などの旅路で、長男庄六らに送った手紙です。一ノ谷・築島・摩耶山・西宮神社などの見物を終え、無事であることを伝えています。

## トピックス展「旅する人、移動する人」

令和8年4月から始まるふくしまデスティネーションキャンペーンに先立ち、江戸時代から昭和にかけての旅や観光、人々の移動にまつわる史料を展示します。



## 〔大日本早見道中記〕

（部分、福島県立図書館所蔵資料（当館寄託））

全国の城や宿場、名所などが記された江戸時代後期のガイドマップです。

## 日本帝国海外旅券（大内史之家文書 19）

明治45年（1912）に交付されたパスポートです。

